

Q4) これから本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、避難所におけるコロナ対策についての再検討は行なっているのか？また、ホテルや旅館、民宿などの宿泊施設を避難所として使用できるような協定はどのようなになっているのか？

A4) 昨年以降、ダンボール衝立や簡易トイレなどのコロナ対策用資機材を購入して備蓄するとともに、避難所の運営に当たる地区本部員の新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえた初動訓練を実施するなど、各避難所における新型コロナウイルス感染症の感染対策はハード面、ソフト面ともに十分に対策を講じていきている。また、ホテルや旅館などの市内宿泊施設との協定については、平成18年1月に館山市旅館組合と「災害時における応急協力に関する覚書」を取り交わしていることから、今後多くの方々の避難が必要となる災害が発生した場合には、避難者を分散させ、感染拡大を防止するための施設として活用させていただけるよう、協力をお願いしようと考えている。

### 所感

台風・地震・津波などの災害発生時、コロナに感染して自宅療養中や入院等調整中の方、また、濃厚接触者となっている方の避難場所や避難方法などについての対応も検討していく必要があります。感染者や濃厚接触者についての情報共有などに関する保健所との連携、避難場所の確保、避難支援のための協力体制、避難所における支援体制など、様々な検討事項がありますので、早急に検討を進めるよう要望しました。

Q5) 今年度は季節性インフルエンザの流行が懸念されており、インフルエンザワクチンの予防接種を例年以上に多くの市民に奨励すべきではないか。また、特例的にインフルエンザワクチン接種の助成についても検討すべきではないか？

A5) 昨年度と同様、新型コロナウイルスの感染予防対策と併せ、予防接種の勧奨だけではなく、マスクの着用・こまめな手洗い・消毒・換気・距離の確保など、日常生活に「新しい生活様式」が定着するよう、広報・ホームページ・チラシ等で周知をしていく。季節性インフルエンザの予防接種費用の助成については、既の実施している高齢者への助成は継続するが、現段階で対象者の拡大や助成の増額は考えていない。

### 所感

神奈川県平塚市は8月25日、新型コロナウイルスワクチンが接種できない12歳未満の子どもを対象にインフルエンザ予防接種費用を一部助成すると発表しました。子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに冬場のインフルエンザとコロナの同時流行を防ぎ、市内の医療提供体制を維持することが狙いです。館山市におきましても同様な助成の検討を強く要望しました。

